

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：民生費 項：児童福祉費 目：児童保護費

事業名 病児保育事業従事者等研修事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 子ども・女性局 子育て支援課 子育て支援係

電話番号：058-272-1111 (内2684)

E-mail：c11236@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 900千円 (前年度予算額：900千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	900	450	0	0	0	0	0	0	450
要求額	900	450	0	0	0	0	0	0	450
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・保護者が就労している場合等において、子どもが病気の際に自宅等で保育が困難な場合の保育需要に対応するため、病児・病後児保育施設の一層の普及促進を図る必要がある。

(2) 事業内容

- ・病児保育事業従事者等研修事業

子ども・子育て支援法に基づく事業として実施される病児保育事業について、事業従事者及び従事予定者に対し病児保育に関する必要な知識の修得、資質を確保するために必要な研修を実施し、もって児童の福祉の向上を図る。

(3) 県負担・補助率の考え方

国 1 / 2、県 1 / 2

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	900	
合計	900	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略
 - 2 健やかで安らかな地域づくり
 - (1) 健やかに暮らせる地域
 - ②子どもを産み育てやすい地域づくり
- ・岐阜県少子化対策基本計画
 - IV地域で子育てを支え合う仕組みづくり
 - 1 地域における妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援
 - (4) 多様な子育て支援サービスの充実

事業評価調査（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
子どもが病気の際に、保護者が安心して就業等が続けられるよう、各市町村で病児保育サービスが受けられる体制を整える。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
病児・病後児保育を実施している市町村数	36 (H27)	38 (H30)	39 (R元)	39 (R2)	42 (R6)	92.8%

○指標を設定することができない場合の理由

--

（前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
8月中旬から9月中旬にかけて岐阜県病児・病後児保育事業従事者等研修を5回実施し、25名が参加。

（前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
県内各地の病児・病後児保育事業の実施を支援し、保護者の就労支援等に繋がった。
事業実施施設の増加や施設新設に向けた動きも見られるとともに、既存施設の質の向上を図っている。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	保護者が就労する上で安心して子育てができる環境を整備するため、病児・病後児保育サービスの充実を図る必要性が高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	病児・病後児保育の実施市町村数、施設数も着実に増加している。従事者の確保によって病児保育事業開始を県討している事業所がいくつかある
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	書類の簡素化による補助金の交付申請等事務手続きの円滑化を図る。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>広域連携を締結している近隣市町村の病児保育施設に頼っている市町村では、遠距離のため利用が難しい地域もある。県内全ての児童が病児保育を利用できるよう事業促進に向けた支援を行う必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>多様化する就業形態に的確に対応するため、地域ニーズを捉えた施策を展開するよう市町村に積極的に働きかけを行い、事業の活用を促していく。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	